

1. 学校のトピックス

- 1.1 学生活動
- 1.2 教育・研究活動
- 1.3 産学連携・地域連携
- 1.4 国際交流
- 1.5 その他

1. 学校のトピックス

1.1 学生活動

1.1.1 機械電子工学科学生のチームがロボカップジュニア日本大会で優勝しました

機械電子工学科の3年生と1年生の所属するチームが、ロボカップジュニア日本大会2014のサッカーチャレンジオープンリーグで優勝しました。

チーム“M Robots”は四国予選を突破し、ロボカップジュニア日本大会（2014年3月21日～23日、埼玉大学）に出場しました。初日の予選リーグ戦では4連勝し、全体の3位（予選リーグC2組の順位は1位）で決勝トーナメントへ進出。2日目の決勝トーナメント準々決勝と準決勝を快勝し、むかえた決勝ではVゴール方式の延長戦を制し、2年連続の優勝を果たしました。



図1 ロボカップジュニア日本大会で優勝

1.1.2 全国高専体育大会バレーボール競技（男子）で準優勝しました

平成26年8月23日（土）24日（日）徳島市（阿南高専主管）で開催された第49回全国高等専門学校体育大会バレーボール競技において、高松キャンパスバレーボール部男子が準優勝しました。

グループ戦を突破した後の準決勝・鹿児島高専戦では、相手のミスが無い試合運びに第1セットを失いましたが、第2・第3セットを連取し決勝に進出できました。決勝戦では昨年と同じ松江高専との対戦になりましたが、雪辱に燃える松江高専の闘志に押され勝利することはできず、残念ながら全国大会3連覇は果たせませんでした。



図1 全国高専体育大会バレーボール競技（男子）で準優勝

1.1.3 全国高等専門学校第25回プログラミングコンテスト自由部門で（最優秀賞，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞及び企業賞）を受賞しました

平成26年10月18日(土)及び19日(日)に一関高専を主管校として、岩手県の一関文化センターで開催された、全国高等専門学校第25回プログラミングコンテストに両キャンパスから自由部門と競技部門に参加しました。

その結果、詫間キャンパスのチームが自由部門「すくえあ」で通算5回目の最優秀賞，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞及び東芝ソリューション企業賞を受賞しました。競技部門では詫間キャンパスは準決勝進出、高松キャンパスは決勝に進出しました。今年度は、自由部門は応募56チーム中20チームが予選通過，競技部門は応募59チーム中59チームが予選通過し本選が行われました。



図1 プログラミングコンテスト自由部門で（最優秀賞，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞及び企業賞）を受賞

1.1.4 高専ロボコン2014全国大会に出場しベスト8になりました

高専ロボコン2014全国大会は平成26年11月23日(日)両国国技館で行われました。

四国大会から3週間という短時間に全国大会5回目の優勝に向けAチーム，Bチームのメンバーを含む「TEAM ARK」25名全員一丸となり毎日ロボットの大幅な改良と練習を行いました。

全国大会では会場の両国国技館で学生、教職員，そしてOBの方々の応援を受け試合に臨みました。「運び屋 犬ちゃん」チームは地区大会優勝チームのため1回戦はシードとなり，2回戦から参加となりました。2回戦は仙台高専と対戦し，安定した動きで相手チームより多い25枚運び勝利しました。準々決勝は福島高専と対戦し，2回のミスがありましたが16枚で同点となり審判員判定となり，判定の結果，敗退となりました。



図1 高専ロボコン2014全国大会に出場

1.1.5 詫間キャンパスプロコンチームがBCN IT ジュニア賞を受賞しました

平成 27 年 1 月 16 日(金)に東京国際フォーラムで行われた BCN AWARD 2015・BCN IT ジュニア賞 2015 表彰式で、詫間キャンパスのプロコンチームが「BCN IT ジュニア賞」を受賞しました。

BCN IT ジュニア賞は、全国で行われた青少年を対象とした各種コンテストで優れた成績をおさめた団体・個人を表彰するもので、IT 企業の表彰式である BCN AWARD と同時に開催され、IT 業界トップの企業から将来の業界を担う若きエンジニアにエールを送る式典となっています。同チームは昨年 10 月に行われた第 25 回高専プロコンの自由部門で最優秀賞を受賞した実績での受賞となりました。



図1 BCN IT ジュニア賞を受賞

1.1.6 プロコンチームが「起業家甲子園」で審査員特別賞と企業賞をW受賞しました

平成 27 年 3 月 3 日(火)に東京都内(コクヨホール)で行われた「平成 26 年度 起業家甲子園」でプロコンチーム(チーム名:すくえあ)が、「審査員特別賞」を受賞しました。

起業家甲子園は、全国から選抜された高専生、大学生及び大学院生等が、ICT を用いて自ら開発した商品・サービスをプレゼンテーションし競い合うビジネスコンテストです。同チームは起業家甲子園の予選を兼ねて昨年 10 月に実施された第 25 回プログラミングコンテストで出場権を獲得し、3 月までメンターと共にシステムに更に磨きをかけ大会に臨み、みごと最優秀賞(総務大臣賞)に次いで 2 位相当となる「審査員特別賞」に輝きました。さらに、協賛企業であるさくらインターネット株式会社より企業賞を受賞し、W 受賞となりました。



図1 「起業家甲子園」で審査員特別賞と企業賞をW受賞

1.1.7 三豊市日本一名誉賞を受賞しました

平成 27 年 2 月 28 日(土), 三豊市内における日本一の個人・団体を表彰する「三豊市日本一名誉賞」の表彰式が詫間町のマリンウェーブで実施されました。

表彰式には, 本校詫間キャンパスから, 「MOS 世界学生大会 2014」日本大会の高等学校・高等専門学校・高等専修学校部門において, ワード 1 位に輝いた藤澤健太君(通信ネットワーク工学科 4 年生)と, 「全国高等専門学校第 25 回プログラミングコンテスト」の自由部門において最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞したプロコンチームが招待されました。

三豊市長から表彰状と記念品を授与され, 盛大な拍手で祝福されました。



表彰状授与



プロコンチームと藤澤健太君(前列右)

図1 三豊市日本一名誉賞表彰式

1.2 教育・研究活動

1.2.1 本校教員が参画するプロジェクトが内閣府の地域活性化モデルケースに選定されました

内閣府が行う地域活性化モデルケース に、本校と連携協定を結ぶ愛媛県西条市が選定されました。

地域活性化モデルケースとは、地域が直面している 2 つのテーマ、1「超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成」、2「地域産業の成長・雇用の維持創出」について、総合的に改革する取組みを行うモデルケースをそれぞれ選定し、先進的プロジェクトとして実現、見える化を行うものです。

西条市は【四国経済を牽引する総合 6 次産業都市「西条市」】のタイトルで、5/29 に選定を受けました。本校からは、電気情報工学科の村上幸一准教授が「露地栽培による大規模栽培（効率化）の実証実験」を担当致します。

1.2.2 平成 26 年度香川高専 FD・SD 研修会を開催

本校では、平成 26 年 9 月 17 日（水）に綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、高松キャンパスと詫間キャンパスの全教職員を対象とした「平成 26 年度香川高専 FD・SD 研修会」を開催しました。

八尾校長による今回の研修会趣旨説明で研修会が始まり、徳山工業高等専門学校総合企画室長天内和人氏による「高等専門学校機関別認証評価について」と題した講演会が行われました。講演後の質疑応答では教職員から積極的な質問が続く等、教職員にとって大変有意義な講演となりました。最後に、八尾校長から「研修内容を大いに参考とし、改革・改善をすすめていきたい。」と総括があり閉会しました。

閉会后、情報交換会が行われ、教職員間で活発な意見交換が行われました。



特別講演（徳山高専総合企画室長天内和人氏）



研修会風景

図 1 平成 26 年度香川高専 FD・SD 研修会

1.2.3 教育実践事例報告会を開催しました

12月1日(月)、詫間キャンパス第4講義室において「平成26年度教育実践事例報告会」を開催しました。この報告会は、香川高専の教員が学生の意欲を増進させる教育実践にかかる事例・工夫などFDに寄与する事項の報告の場として、毎年実施しています。

今年度は、各学科を代表する10名の教員から英語授業講義力強化プログラムへの参加報告や日頃の教育に関する取り組みが報告され、参加した教員からは報告事例に対して活発な質問が出るなど有意義な報告会となりました。



図1 教育実践事例報告会

1.3 産学連携・地域連携

1.3.1 三豊市少年少女発明クラブ「簡単ロボット教室(1)」を開催しました

5月17日(土)、詫間キャンパスにて三豊市少年少女発明クラブの活動「簡単ロボット教室(1)」を開催しました。「簡単ロボット教室」は発明クラブの活動に協力している詫間キャンパスロボコンチーム「TEAM ARK」が主催している活動です。

1回目の今回はロボット作りを楽しむ事を目的に、自由な発想で好きなロボットを作りました。昨年度から継続して入会している子ども達は慣れた手つきで次々と部品を手にブロックを組み立てていろいろな形のロボットを作りました。初めてロボット教室に参加した子ども達には学生が一緒になって取り組みました。ブレイクタイムには電子システム工学科准教授のジョンストン先生と一緒にアルファベットソングを歌い、身体を動かして楽しみました。

発明クラブではものづくりや科学実験、絵画教室などを月に2回のペースで開催しており「TEAM ARK」の学生が活動に協力しています。また、昨年度から始まった英会話に慣れ親しむ取り組みでは、本校のジョンストン先生が参加して子ども達と積極的にコミュニケーションを取っています。詫間キャンパスでは今年度もクラブの活動を通じて、地域の子どもの理科学体験のお手伝いをしていきたいと思っています。



図1 「簡単ロボット教室」

1.3.2 香川高専科学体験フェスタを開催しました

「小・中学生のための香川高専科学体験フェスタ」を、6月1日(日)に高松サンポート大型テント広場において開催しました。この行事は「たかまつ春の食と文化のフェスタ2014」の共催行事として、高松・詫間両キャンパスの学生、教職員が協力して実施したものです。

当日は、30度を超える猛暑の中での開催となりましたが、会場には家族連れの方々など延べ約1,000名以上の来場者が訪れました。参加者の方からは「すばらしいイベントです。毎年来たい。」という嬉しいお言葉もたくさん頂くことができました。



図1 香川高専科学体験フェスタ

1.3.3 香川高専人財バンクによる機械工学科5年生の講義を行いました

5月20日(火)、機械工学科5年生の振動工学の授業において、株式会社タダノの村川豊弘氏を招いて講義を行っていただきました。

村川氏は、高松高専機械工学科6期卒業生で、卒業後、株式会社タダノにおいて多方面で活躍された技術者です。今回は香川高専人財バンクからの招へい事業として取り組んでいただきました。

講義では、高専在校当時の学生生活の紹介などから企業における各種製品の開発について、豊富な経験や技術者としての考え方などを紹介していただきました。来年には就職するものも多い機械工学科の学生にとって大変興味深い内容で、学生たちは熱心に耳を傾けていました。



図1 香川高専人財バンクによる機械工学科5年生の講義

1.3.4 詫間キャンパスでビジネスに関する講演会を開催しました

1月30日(木)、香川銀行営業店統括部部長代理 高橋 正彦氏を講師に招き、第4学年を対象にビジネスに関する講演会「技術者・研究者が知っておきたいビジネス・金融の基礎」を開催しました。

講演では、銀行が請け負う仕事をマンガやクイズを用いて分かりやすく説明して下さり、身近な銀行の役割や業務内容、金融、企業経営について学ぶことができ、学生にとって大変有意義な講演会となりました。

本講演会は香川銀行・香川高専連携協力協定に基づく推進事業の一環として開催されました。



図1 ビジネスに関する講演会

1.3.5 包括連携協定に基づく三菱重工業株式会社による特別授業を実施しました

国立高等専門学校機構と三菱重工業株式会社が締結した包括連携協定に基づき、“「グローバル化」時代への対応～異文化社会との積極交流～」と題して、3年生を対象とした特別授業を実施しました（平成26年12月19日（金）於多目的A室）。

講師（三菱重工業株式会社 技術統括本部 技師長 丹羽高興 氏）の在インド時の経験をもとにした、新興国と呼ばれる発展途上国と日本との比較や、三菱重工のアジア戦略を中心に、各国の労働人口の推移や宗教や気質の違い、日本の世界における立ち位置（ガラパゴス化？）、高専生に期待すること、などをご説明いただきました。授業途中のブレイクタイムにも三菱重工が関わった飛行機にまつわる話（ボーイング777、ロールスロイス社によるジェットエンジンの開発、MRJの開発・製作）や技術系として興味を持ってほしいこと、などについて映像やクイズを使ってお話いただきました。

学生は卒業後、日本国内ではなく海外（特にアジア）で働くことが多くなる、海外で仕事をする上で言葉以外のコミュニケーション能力も必要である、日本人の特性を活かして仕事するべき、などのメッセージが印象的でした。なお、本授業は、キャリア概論の一部になっています。



図1 三菱重工業株式会社による特別授業

1.3.6 株式会社百十四銀行との連携協定を締結しました

3月5日、株式会社百十四銀行との連携協定を締結しました。

百十四銀行本店で行われた締結式では、本校から八尾校長、橋本副校長、福永副校長、倉持事務部長、百十四銀行からは渡邊取締役頭取、安藤取締役常務執行役員、豊嶋経営企画部部長、前田統括部副部長が出席しました。

締結に当たって八尾校長は、「銀行の持つ英知や経験と香川高専の人的・知的・物的資源を融合し、両者の活動をさらに広げ推し進め、さらに地域に貢献していきたい」、渡邊取締役頭取は、「香川高専と百十四銀行が相互の資源を有効に活用し、連携・協力を図りながら、地域の活性化に全力で取り組んでいきたい」とそれぞれ抱負が述べられました。

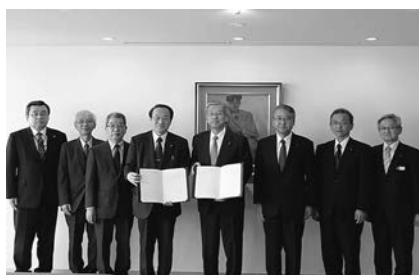


図1 株式会社百十四銀行との連携協定

1.4 国際交流

1.4.1 ラジャマンガラ工科大学と学術交流協定の調印式を行いました

8月20日(水)にタイのラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 (Rajamangala University of Technology Thanyaburi, RMUTT) において、同校との包括的学術交流協定(MOU)の調印式を挙りました。調印式では、本校八尾校長と RMUTT プラサート・ピナパトムラット学長が協定書への署名を交わしました。引き続き、RMUTT の研究リーダーらが加わり、教員・学生の交流及び共同研究の推進に向けた意見交換を行いました。



図1 ラジャマンガラ工科大学と学術交流協定の調印式

1.4.2 タイの泰日工業大学を視察訪問しました

8月19日、本校校長と国際交流室室長らが泰日工業大学(Thai-Nichi Institute of Technology, TNI)を訪問しました。TNIは、日本-タイ間の友好とタイ産業界の人材育成を目的として2007年にバンコクに設立された大学です。

TNI から学長、情報学部長、国際交流担当者にお願いいただき、両校の学校紹介から始めて国際交流活動について情報を交換しました。特に学生交換などの交流計画については、具体的な議論に及びました。学内見学では、工学部と情報学部を案内され、熱心に機器や装置を扱う学生の実験実習や授業風景を見学しながら説明を受けました。

今後は交流協定をはじめ、学生の派遣・受入プログラムを検討する予定です。



図1 泰日工業大学を視察訪問

1.4.3 香川高専グローバル・エンジニア研修プログラム（第1次）を実施しました

平成26年9月3日から19日までの17日間、マレーシアのマラ工科大学(UiTM)のNANO SciTech Centerで「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラム（第1次）」を実施しました。本プログラムは、UiTMと研究課題を共有できる分野において学生を相互に派遣・受入し、双方の教育研究環境で自らの専門分野に取り組むことで、英語を用いたコミュニケーション能力の向上と海外異文化の理解を目標とするものです。これに参加した本科5年生1名及び専攻科1年生3名の学生は、ナノサイエンス関連の研修プログラムにそれぞれ取り組みました。

期間中、参加学生はUiTMの大学院の学生らと相互に研究紹介を実施したほか、UiTMの教職員らの指導のもと、持参した実験サンプルの解析と評価にあたり意見交換を行いました。またUiTMの各学部の施設見学、マレーシア国立のバイオサイエンスの研究所SIRIMと天然ゴムの研究所LBMなどの見学も行いました。本プログラムは、昨年度に引き続き、日本学生支援機構(JASSO)による「平成26年度留学生交流支援制度（短期研修・研究型）」の支援を受けました。



図1 グローバル・エンジニア研修プログラム（第1次）

1.4.4 台湾国立大甲高級工業職業学校の教育旅行団が本校を訪問しました

10月22日と23日に、台湾国立大甲高級工業職業学校から生徒20名と教員2名からなる教育旅行団の訪問を受けました。

初日は詫間キャンパスにて、歓迎セレモニーと両校の学校紹介の後、「ものづくり体験授業」としてイベントチームが地域活動で実施しているマイコンゲーム機の製作を体験しました。午後には県内の企業で工場見学を行った後、詫間キャンパス茶道部による立礼のお茶席を体験しました。

2日目は、高松キャンパス技術支援室の指導によりネームプレートの製作に取り組みました。午後には本校イノベーションセンターの紹介で工場見学を行い、放課後にはバレーボール部や合唱部などの課外活動を見学して、本校学生と交流をしました。



図1 「ものづくり体験授業」等の様子

1.5 その他

1.5.1 平成26年度 香川高等専門学校入学式を挙

4月4日（金）丸亀市内の綾歌総合文化会館アイレックス大ホールにおいて、香川高等専門学校の第5回入学式を挙

行しました。入学式では、本科生296名、留学生4名及び専攻科生44名の計344名の名前が一人ずつ読み上げられ、八尾校長から入学が許可されました。

八尾校長から「人間として優れ、技術者として優れる、我が国を先導する人に育つことを願っています。」との式辞が述べられた後、三豊市長から祝辞を賜り、その後、本科入学生代表、専攻科入学生代表による宣誓があり、最後に校歌斉唱を行いました。

式には同窓会会長、後援会会長にもご臨席いただき、保護者、教職員とともに新入生の新しい門出を祝いました。

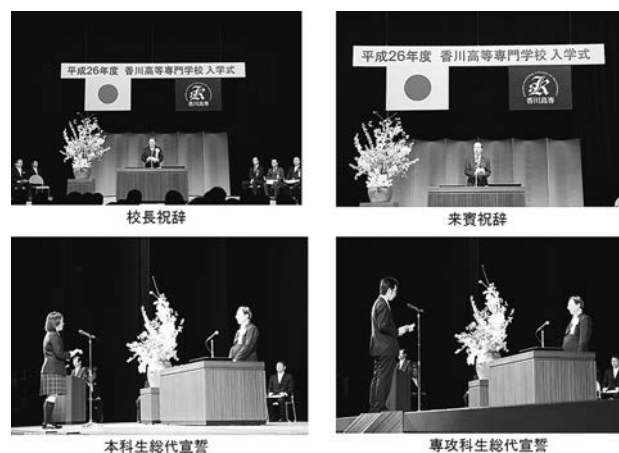


図1 入学式

1.5.2 常設型霧箱の除幕式を開催しました

平成26年4月19日（土）、高松キャンパスで常設型霧箱の除幕式を開催しました。霧箱とは、自然放射線の通り道を観察する装置であり、今回導入したこの装置は、世界最高水準の観察面積、厚み及び光源を誇る、日本製大型霧箱です。

式典では、来賓として中西香川大学工学部長、竹本香川県高等学校教育研究会理化部会会長、下川香川県中学校教育研究会理科部会副会長、太田香川県小学校教育研究会高松支部理科部会南ブロック長にご列席いただき、八尾校長をはじめ、香川県下の小中高の教員、本校の学生と教職員など約60名が参加しました。

また、見学会では参加者が霧箱に見入り、放射線が見える原理について活発な質問があり、放射線の軌跡が出るたびに、大きな歓声が上がりました。その後、会場を移動し「放射線と霧箱の過去・現在・未来」を演題とした講演が行われ、活発に質疑応答が交わされました。

最後に、参加者による簡易型霧箱実験を執り行い、和やかな雰囲気の中、参加者それぞれが自然放射線や鉱物から出る放射線を観察し、大変有意義な式典となりました。なお、霧箱は学生玄関に設置し、平日の8:30から17:00まで稼働させ、広く公開しています。



図1 常設型霧箱除幕式

1.5.3 平成26年度 秋季オープンキャンパスを開催しました

11月8日(土)・9日(日)に両キャンパスで実施された学生祭にあわせて、オープンキャンパスを開催しました。

高松キャンパスでは図書館棟多目的室AでDVD映像と学校紹介スライドを用いて香川高専の概要説明を行い、多目的室Bにおいて高松キャンパス4学科が個別相談コーナーを設けて学科説明をしました。あわせて、第1会議室では、「高専女子学生による中学生向け相談会」を開催しました。また、希望者に対して、学生寮の見学会を実施しました。

詫間キャンパスでは、来訪者が各学科に設けた「各学科がわかるコーナー」を各自自由に回る方式を採り、来訪者は学生の説明を聞いたり、学校に関わる種々の体験をしていました。さらに、「全体コーナー」では学校概要の説明や受験について個別に相談を行いました。また、「女子学生コーナー」では、女子中学生の質問に対し高専女子学生が詳しく説明し、女子中学生の皆さんの疑問解消の手助けをしてきました。



図1 秋季オープンキャンパス

1.5.4 四国地区建設系3高専女子学生の合同合宿を行いました

9月27日、28日に、香川高専、高知高専、阿南高専の四国地区建設系3高専の女子学生のうち今年度は香川高専のどぼじょの会、高知高専のはちきん蘭土会が中心になって集まり、室戸青少年自然の家にて合同合宿を行いました。

この合宿は、各校で行われている女子学生生活動の活動状況などを情報交換し、共同で活動することで、自校の活動をより良いものにしていくことと、この交流をきっかけに自分のキャリアについても考えるきっかけとすることを目標としています。今回は最初の交流として、各高専の状況を知り、各高専の女子学生と仲良くなることを目的として活動を行いました。

活動では野外活動のほか、自己紹介大会やキャリア研修、室戸ジオパークの見学などをし、交流を深めることができました。



多くの情報交換ができ、楽しい合宿となりました。

図1 四国地区建設系3高専女子学生の合同合宿

1.5.5 第6回卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を挙りました

第6回卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を3月19日(木)に綾歌総合文化会館で挙りました。

平成21年に高松工業高等専門学校と詫間電波工業高等専門学校を高度化再編して誕生した香川高専から、第一期の卒業生を送り出す記念すべき授与式となりました。

本年度の卒業生並びに修了生は、機械工学科、電気情報工学科、機械電子工学科、建設環境工学科、通信ネットワーク工学科、電子システム工学科、情報工学科、創造工学専攻、電子情報通信工学専攻の合計297名です。

八尾健校長が7学科と2専攻科の総代に証書を渡し、「本校で修得した知識や技術を生かし、広い視野と長期的な展望を持ち、益々活躍してほしい。」と式辞を述べ、また三豊市長から祝辞を賜りました。



校長式辞

卒業証書授与

修了証書授与

来賓祝辞

卒業生代表答辞

修了生代表答辞

図1 卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式